

※講座等で職員が不在の場合があります。
ご理解をお願いします。

日	月	火	水	木	金	土
1 交通安全推進大会 9:00	2 川柳・ハルティック	3 健康本極拳	4 ちぎり絵・吹き矢 青少協あいさつ運動	5 ラーズ・布ぞうり	6 男の料理教室 10:00 (シニアクラブ) 中学生のつどい 事前打ち合わせ 19:30	7 となりのこうみんかんクラブ 14:30 地区同研県外視察研修会
8 なごもう会 9日(月)	9	10 健康本極拳	11 手芸 3B体操 14:00 青少協あいさつ運動	12 ラーズ・水墨	13 うた	14 土の会(陶芸) なんちゃってアート教室 13:30 中学生のつどい
15 土の会(陶芸) 敬老会記念品配布	16 敬老の日	17 健康本極拳 体育館開放委員会 19:30	18 版画・吹き矢 青少協あいさつ運動 男のクラブ 10:00 地域活動部 19:30	19 ラーズ・布ぞうり	20 男のクラブ【9月のミニ講話】 人形峠環境技術センターの概要について *職員さんよりお話を伺います。	21 隣のDAI学院
22 秋分の日 小鴨地区大運動会	23 振替休日	24 健康本極拳 切り絵	25 手芸 3B体操 14:00	26 ラーズ・水墨 健康教室 10:00	27 うた	28 土の会(陶芸)
29 土の会(陶芸)	30 ハルティック たより等配布日	小鴨・切り絵作品展 切り絵を楽しむ会のみなさんの展覧会です。 日時:9月15日(日)~28日(土) 午前9時~午後9時 *日曜日は午後5時まで 場所:リフレプラザ		小鴨地区振興協議会体づくり部会 10/20(日)健康ウォーキング 10時受付開始 コミセン発着で小鴨神社を目指す約7kmのコースです。 詳しくは回覧をご覧ください。(申込締切9/27)		



9,10月のお知らせ

下記講座・教室のお申し込みは、小鴨コミュニティセンターまでお願いします。
FAX、メールの場合は、名前、住所、電話番号、申込講座名をご記入ください。
詳細は、小鴨コミュニティセンター(電話28-0964/FAX28-6034)までお問い合わせください。

* 下記講座・教室・研修会は小鴨コミュニティセンター・やまびこ人権文化センターで開催します。

9/10
(火)

子育てママ応援講座

「タイルアートでなべしき作り」

小鴨地区で子育て中のママ、プレママを応援する講座を開催します。

一緒に来られるお子さまに必要なものをご持参ください。

日時:9月10日(火)午前10時~11時30分

講師:松尾美樹子さん

参加費:300円

持ち物:エプロン

申込締切:9月6日(金)



※メールでの申し込み可



10/9
(水)

小鴨地区振興協議会歴史文化部会

小鴨地区の文化財・石造物等を巡る会 ~ふるさと再発見!

日時:10月9日(水)午前9時~12時 ※少雨決行

集合場所:小鴨広場(旧倉吉線西倉吉駅前広場)

集合時間:午前8時50分(徒歩で移動します)

講師:倉吉市文化財課 箕田拓郎さん

行き先:六十六部供養塔(生田)、福守観音堂、

岡田の子守観音(西倉吉町)ほか

申込締切:9月20日(金) 定員:30人程度

申込先:小鴨コミュニティセンター(電話28-0964)

*参加費は無料です。 *飲み物等ご準備ください。

9/11
(水)

小鴨地区社会福祉協議会 健康教室

心も体も「いきいき3Bプログラム」

3B体操は楽しみながら心地良い運動を無理なく行うことができます。年齢性別問いません。みなさん、ぜひ参加してみませんか?運動のできる服装でお越しください。

9/25
(水)

日時:9月11日・25日(水)午後2時~3時15分

講師:日本3B体操協会鳥取県支部

公認指導士 池尾久美子さん

公認指導者 土井節美さん

持ち物:お茶(水分補給)、タオル(汗拭き用)

10/12
(土)

文化教養講座

「高木啓太郎が見た伯耆因幡の風土と歴史」

中河原出身の高木啓太郎さんが撮影された民俗写真を通して、昭和の伯耆因幡の様子をご紹介します。

日時:10月12日(土)午前10時~11時30分

場所:小鴨コミュニティセンター・やまびこ人権文化センター

講師:倉吉博物館 関本明子さん

申込締切:10月8日(火) *参加費は無料です。

申込先:小鴨コミュニティセンター(電話28-0964)

おがもコミセンだより

小鴨コミュニティセンター発行 令和6年9月1日No.42

倉吉市中河原772-6 TEL 28-0964 FAX 28-6034

Email koogamo@ncn-k.net

http://www.ncn-k.net/koogamo/

開館時間:月~金 午前9時~午後5時

令和3年4月より倉吉市小鴨公民館から
小鴨コミュニティセンターになりました。



メール用



HP用



ブログ用

【もくじ】 1ページ:先月の様子ほか 4ページ:今月の行事予定、今月のお知らせ
2・3ページ:先月の様子、川柳、食生活改善推進員より、笑顔だより ほか

みつぼし踊り大会



8月3日(土)に「第46回倉吉打吹まつり」の「倉吉みつぼし踊り大会」に出場しました。参加者全員でお揃いの小鴨デザインTシャツを着て、気合十分で参加しました。息の合った華麗な踊りを披露し、会場を沸かせました。



会場が熱気に包まれる中、笑顔で観客を魅了しました。



小鴨地区在住の中高生が、太鼓で盛り上げてくれました。

8月の様子

小鴨コミュニティセンター主催事業や、各種団体の活動を紹介しています。

8月6～8日(火～木)

おがもサマースクール

小鴨小学校の児童を対象に3日間開催しました。夏休みの宿題をするだけでなく、家庭科として昼食づくり・体育としてユニバーサルスポーツ体験(ポッチャトラダゲッター)・図工として工作や絵を描きました。



見守られながら宿題を真剣に取り組んでいます。



家庭科は、食生活改善推進員さんに協力いただきました。



おはなしたんぼのみなさんに読み聞かせをしてもらいました。大型絵本やパネルシアターなど子どもたちは夢中で聞いていました。



4種類の工作を作りました。地域の方や高校生ボランティアにもお手伝いいただきました。



子どもたちの絵をほめながらアドバイスしていただきました。

おがも川柳会

写真の父山高帽でおしゃれして	じわじわと暮らしの範囲狭くなり	じわじわと攻めくる老いを追い返す	リズム良く生きておるなど自画自賛	リズム良くのんびり過ごす今がいい	村祭り太鼓のリズム心浮く	若いねと言われ足取り軽くなる	じわじわと温み伝わる背中の手	畑に出る汗がじわじわしみだす
みえ子	敦子	酔芙蓉	寿々子	瑞子	さち子	よう子	風露	白萩 祐子

8月10日(土)

夏休み親子デジタルアート教室

小学生の親子を対象にデジタルアート教室を開催しました。ドコモショップ倉吉河北店講師さんのお話を聞いた後、子どもたちはタブレットのアプリを使って、思い思いに絵を描いて楽しんでいました。



素敵なデジタルアート作品ができました。アプリを入れたら、スマホでも楽しめます。

8月17日(土)

なんちゃってアート教室

漫画家かわにしよとさんを講師にお迎えし、子どもいきプランで開催した教室をコミュニティセンター事業として3回連続講座として開催します。「はこものがたり」として8コマ漫画を制作していきます。地域の大人や子どもたちが豊かな発想で物語を考え、夢中で絵を描いていました。県立美術館の開館に向け関心を持ってもらえればと思います。



8月27日(火)

愛♡リスンコミュニティ

傾聴ボランティア「あいりす」主催、「隣のDAI学院」「あいりすコミュニティおがも」協力で開催しました。それぞれがコーナーを担当し、参加者は楽しみました。最後に「はーとびあ創造」の方々と参加者みんなで「友だちになるために」の手話をしました。ほっこりとした気持ちで会が終わりました。



◆コワラ「小鴨を笑顔にする会」 ロゴマーク決定

7月20日に表彰式を行いました。8作品応募があった中で、かわにしよとさんのデザインに決めました。



お礼「愛の灯募金」への ご協力ありがとうございました

社会を明るくする運動月間中、「愛の灯募金」にご協力いただき、誠にありがとうございました。
(更生保護女性会小鴨支部)

小鴨地区食生活改善推進員より

桜えびと刻み昆布の炊き込みごはん



倉吉市食生活改善推進員連絡協議会講義と実習レシピより 「健康教室～減塩を意識した食事をしよう」

小鴨地区食生活改善推進員会のマスコットキャラクターです！

- (材料) (4人分)
 ◆米 2合(300g)
 ◆水 420g
 ◆桜えび(素干し) 30g
 ◆刻み昆布 8g
 ◆みりん 大さじ1(18g)
 ◆薄口しょうゆ 小さじ2(12g)

(作り方)

- ①米は洗って30分水に漬け、ザルに上げて水を切る。
 ②炊飯器に、①、水、桜えび、刻み昆布、みりん、薄口しょうゆを入れて炊く。



※桜えびと刻み昆布で香ばしさとだしの旨味がプラスされ、少ない調味料で仕上げることができます。
 ※刻み昆布も具材として、そのままいただくことができます。



☺ 小鴨コミセン笑顔だより ☺

この夏に感じたこと

猛暑の夏も峠を越えて、秋風がもうすぐ感じられるようになります。スポーツのテレビ観戦が好きな私は、今年は特にパリ五輪に夏の甲子園、女子ゴルフの全英オープンなどと存分に楽しませていただきましたし、今はパラリンピックも楽しみにしています。この夏のスポーツ大会では『諦めない』がキーワードであったように思います。劣勢を覆しての逆転勝利の場面をたくさん目にしました。どんな状況であっても最後まで諦めないでベストを尽くせば、何かが起こることがあります。活躍が期待されていた選手はもちろん、最後には劣勢を覆せる選手は目標に向かって粘り強く鍛錬を続けてきた人なんだろうと容易に想像できますし、尊敬に値する人たちです。ところが、そんなチームや選手に対してのSNS上での誹謗中傷が多数投稿されているとの報道を目にしました。激励や賞賛の声かけは選手にとって励みになりますが、誹謗中傷は当事者の心を深く傷つけますし、決して許されない行為です。人を傷つける行為を自覚していない投稿者も多いと聞いて残念でなりません。普段から一人一人の考えや感じ方の違いを認め合い、尊重し合う社会であってほしいと思いますし、私自身も自分の考えだけに固執しないで年齢や性別に関係なく、広く周りの皆さんの感性や考え、アドバイスを参考にして、受け入れられる柔軟性を身に付けていきたいです。

(コミュニティセンター館長)